



深川交通安全情報

ストップ・ザ・交通事故

令和8年4月2日
深川警察署
交通課
R8年 第16号

新年度 子どもへの交通事故に注意して下さい

子どもの交通事故の特徴

- 道路横断中の事故が多い
- 横断歩道以外の場所を横断中の事故が多い
- 自宅付近で事故に遭うことが多い
- 自宅から1km圏内が多い
- 夕方の時間帯の事故が多い
- 自転車の事故が多い

ドライバーが注意するポイント



👉 子どもは車に気付いていないと考え、速度を落とし、距離をあけて通過する

歩道にいる子どもを見かけたら、「車に気付いていない」と考えて、子どもの飛び出しがあるかもしれないという「**かもしれない運転**」を実践しましょう。

特に住宅街や小学校周辺など子どもの多い場所では、速度を落として子どもとの距離を十分にとって**安全を確保**して通過しましょう。

👉 見通しの悪い交差点や路地では、二段階停止し、十分な安全確認を行う

見通しの悪い交差点や路地では、危険を理解していない**子どもが急に飛び出して**来たり、曲がった先にいる可能性があるので注意しましょう。

👉 横断歩道を通過するときは、周囲を確認してから発進する

信号のない横断歩道付近に子どもがいる場合は、**徐行して通過**し、横断しようとしている場合は**一時停止**しましょう。

信号のある横断歩道付近では、青信号になってもすぐに発進することなく、子どもが**横断歩道に出てこないか確認**してから発進しましょう。



重要

4月は新入学生が親御さんの手を離れて通学する、いわゆる「**1人歩きデビュー**」の時期です。

子どもとの悲惨な事故を起こさないためにも、常に安全運転を心掛けましょう。

～めざせ 安全で安心な北海道～